

朝倉地域観光案内ボランティアの会

とくなが かずとし
代表 徳 永 萬 利

1、ボランティアの会の成り立ち

設立：平成 13 年 4 月 25 日

構成：現在 10 名(63 歳～79 歳)：男性 6 名 女性 4 名 毎月 1 回定例会

2、目的

朝倉には、自然に恵まれた環境の中で先人達が培った歴史と文化が育まれています。多くの史跡や伝承を残す古代遺産、日本に類を見ない江戸時代の農業遺産。

最終的に“そんなに朝倉がよかところならば朝倉に住もう“と言って、定住につなげることが私達の究極の目的です。

3、実際の活動

①朝倉橘広庭宮

倭国と親交が深かった百済は、660 年唐と新羅に滅ばされます。斉明天皇は百済救援を決意し、661 年に朝倉に都を移されます。これが朝倉橘広庭宮です。

②山田堰と 3 連水車

全国に類のない「傾斜式床式石張堰」山田堰を完成させ、筑後川よりの全面取水に成功。アフガン復興と早魃の支援活動を続けるペンシャワール会・中村哲医師は、山田堰と水車の技術をアフガニスタンで活用し、多くの難民の救済に成功。

4、日頃の活動の中での問題点・今後の希望

①一番困っている事（山田堰）

日本内外からの訪問・・・この時トイレがない！！

トイレの設置とそのメンテナンス・・・朝倉の観光振興の最重要課題。

②会員の若返りと増強

如何にして若い人達を加入させるか⇒若い時から、朝倉の郷土愛を育むか！

③ボランティア スキルの向上

知識レベル上げる必要があり、定例会で持ち回り講師の勉強会を始めたところ。外部研修会、講演会等への参加。語学力のある若手会員の確保も課題。

④視聴覚機材の活用

従来は殆ど現地で案内。しかし、屋外であることから、気象条件による問題があり一旦会議室でスライド・ビデオで説明。学校への出前授業など実施。

⑤活動資金

従来は会員の年会費のみで運営。昨年より案内一人当たり¥300 に変更。

⑥行政との連携体制強化

行政との協働体制を強化し、朝倉の観光事業の活性化(秋月、朝倉、杷木地区の一体化)。今日は朝倉市商工観光課より参加、配車して頂き感謝しています。